

社 外 秘

2022年3月期 期末決算の状況

<総括>

■ 日本郵便(連結)の営業収益は前期比1,807億円減の3兆6,569億円、営業利益は前期比68億円減の1,482億円、当期純利益は特別損失の減少等により、前期比398億円増となり932億円。

■ 事業別でみると、

- 「郵便・物流事業」…営業収益は、引受再開に伴う国際郵便の増加があったものの、前年度の巣ごもり消費増の反動、厳しい競争環境等によりゆうパック(ゆうパケット含む)が減少したほか、年賀葉書収入の減少もあり減収。営業費用も業務量に応じた担務別コストコントロールの取組等により減少したものの、営業利益は減益。
- 「郵便局窓口事業」…保険手数料や銀行手数料が減少したほか、収益認識基準の適用(物販事業のカタログ販売等に係る売上と仕入費用を相殺し、純額を売上として表示※)に伴い、物販事業の収益が減少したことや、前年度の不動産販売収益の剥落等により減収減益。
※ 売上と仕入費用を同額相殺するため、損益影響はないもの。
- 「国際物流事業」…営業収益・営業費用とも、ロジスティクス事業における新型コロナ関連の大口取扱いの減少、エクスプレス事業の譲渡完了に伴い大幅に減少。営業損益(EBIT)は、フォワーディング事業の貨物需要増による増収等により増益。

(億円、下段括弧内は百万豪ドル)

	日本郵便 (連結)		郵便・物流 事業		郵便局窓口 事業		国際物流 事業	
		前期比		前期比		前期比		前期比
営業収益	36,569	△ 1,807	20,412	△ 272	11,517	△ 916	6,875 (8,279)	△ 623 (△ 1,564)
営業費用	35,086	△ 1,739	19,389	△ 57	11,272	△ 785	6,587 (7,932)	△ 876 (△ 1,864)
人件費	22,178	△ 490	12,212	△ 145	8,330	△ 52	1,636 (1,970)	△ 290 (△ 559)
経費	12,907	△ 1,248	7,176	+ 88	2,941	△ 732	4,950 (5,961)	△ 585 (△ 1,305)
営業利益	1,482	△ 68	1,022	△ 214	245	△ 131	287 (346)	+ 252 (+ 300)
経常利益	1,435	△ 56						
特別損益	△ 78	+ 834						
税引前当期純利益	1,357	+ 778						
当期純利益	932	+ 398						

※ 本資料は報道発表資料に合わせて「日本郵便連結」での決算数値を記載しています。「日本郵便連結」とは日本郵便株式会社を親会社として、連結対象の子会社等の成績も含めた連結決算です。

【取扱数量の推移】

(郵便・物流事業)



注: 「ゆうパック」には、ゆうパケットを含みます。

【収益構造の推移】

(郵便局窓口事業)

